漢字かな交じり 書 を学ぶ

調和体を書く(15)

締切り 三月二十四日(必着)



回作品の出し方

▼毛筆部=半紙に書いて下さい。(筆ペン可) 出品制限の対象とはしませんが、出品は硬

▼硬筆部=B5判(二五七㎜×一八二㎜)以 下の紙に書いて下さい。用具は自由です。 (黒色に限る)

毛のどちらか一方に限ります。 掲載しますが、成績表での順位発表はしま

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・ ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに 硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の 成績)を、作品余白にお書き下さい。 村 憲 照 先 生

> ◆書道のジャンルには、大別して「漢 ▼現代日本の文章表現は全て漢字かな 字」「かな」「漢字かな交じり書」の として書展の一部門を占めています。 作作品を指し、「調和体」「近代詩文」 交じり書ですが、ここでは芸術的創 三つがあります。

◆読める書として人気を高めています 呼称で研究が進められています。 書法はまだ確立しておらず、各団体 が、古典といわれるものがない故に で新和様・新書芸などのいろいろな

◆好評につき今年も続けます。工夫し ▼今回のお手本は、前会長奥村憲照先 生が(財)日本書道教育学会に関係 本誌初登場です。 していた頃の新和様のお手本です。

(読み)

楽しんで研究してまいりましょう。

早春の 流水早し 猫柳

〔解説〕

①可読性を大切に。

書

奥

②変体仮名・連綿はなるべく控える。 ③構成を工夫してみよう。

※「憲照かく」はご自分の名をお書き 下さい。印のない方は赤ペンで□を 書き入れて下さい。

準初段から六段まで

〔解

のびやか

説)

新入から1級まで

〔解 説〕

書写体

◎今月は行書です。「書は習うより慣れよ」の言葉通り、ペンを持つ時間を多くすることが大切。

師範は「行草または草書」で出書して下さい。

書

▶教範・書範は右課題を「楷書」で、

·師範=行書

りゅう おか 聞 野 だ 田 書 ▷用具=自由(黒色に限る) ▷用紙=本会段位用紙

★芸術…(書体=行書) 今月の課題、芸術というものは…こ 江戸時代の浄瑠璃・歌舞伎作者 近松門左衛門(一至三一三四)

世清 じょう城 おお大 たに谷 書 ▷用具=自由(黒色に限る)

★才能は…(書体=楷書)

ノヴィコフ(八七十二五四

▷用紙=本会級位用紙

き出すところから才能は生まれるで てしまうからです。未知へ向かって歩 抜け出せず、 す。慣れ親しんだ習慣、ぬるま湯から 能を発見できると言っています。 しょう。 経験は、ときに人間を無力にしま 積極的に生きた人だけが、自らの才 ロシアの作家 惰性によってつい行動し

*4月課題予告 孤独は優れた

運命である

精神の持ち主の

をよく表している言葉でしょう。 どの微妙な違いであり、 皮膚と粘膜。つまりは区別できないほ ものです。虚実は虚構と事実、皮膜は れは、近松門左衛門が唱えたとされる 虚実皮膜」をわかりやすく解釈した 芸術の繊細さ

4月課題予告(楷書)

光を送ることが 芸術家の使命だ 八間の心の奥底へ 教範・書範=行草または草書

-5 -

準初段から六段まで

新入から1級まで



た 田 なか中 ごう光 き貴 ▷用具=自由(黒色に限る) ▷用紙=本会段位用紙

た 田 なか 中 ごう光 き貴

▷用具=自由(黒色に限る) ▷用紙=本会級位用紙

> をめくる。それらの絵草紙の上に置か 店先に春風が吹いて、絵草紙のページ

[句解]色とりどりの絵草紙を並べた

れたおもし(鎮)に春の日が光る。

[鑑賞]〈絵草紙〉

江戸時代に刊行さ

女性や子供を対象とした通俗読み物。 れた、かな文字で書かれた絵入りの本。

絵草紙に鎮おく店や春の風

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です

·4月課題予告

ててから戻すような書き方をするとよ

から続ける気持ちで、つき当 級位〈〉〉の書き出しは、

世の中は三日見ぬ間に桜かな

絵草紙に鎮おく

風型

絵草紙に鎮おく店や春の風

〔古筆参考〕

和泉式部続集切

るそうちゃうちゅう

しらくものしらぬやまぢをたづぬとんたにまります。

築な

締切り 三月二十四日(必着)

書

瀬せ 舟り 香さ

まで夕べの趣は秋に限るなどと、どう 麓は霞み、 べの風景もすばらしいではないか。 して思っていたのだろう。この春の夕

「歌意」遥かに見渡すとかなたの山の

水無瀬川が流れている。今

[出典] 新古今和歌集

(新潮日本古典集成)

(解説)

だにあきはなきにこそなけ にすてよといひたるに
なる てことなる事なきをとこのもとよりわれ よのなかをおもひすつまじきさまにし

> ①と回、②と回、②と〇、②と□、 密の部分大切。 ▶ 指向性大切。)余白大切。

4月課題予告 ほととぎす声待つほどは片岡の

もりのしづくに立ちやぬれまし

実 用

締切り 3月24日(必着)

土手に土筆を見つけました。まだ 小さいですが春の訪れを感じさせて くれます。もう少し暖かくなったら 子供達と一緒に遊びに来て下さい。

作品の出し方

新入から師範まで、どなたでも出書できま

す。成績は評価により毎月変わります。

小さいですが春のが八を風がなると 子供達と一緒に越びにまて下す 子です。散歩の途中、川沿いの

※手本は水性ボールペン使用

横書き課題

両課題とも、書体変換は自由です。

用具=はがき、横書き課題ともに自由

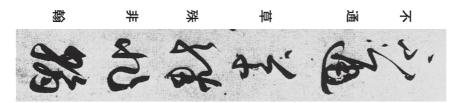
用紙=はがき課題ははがき用紙、

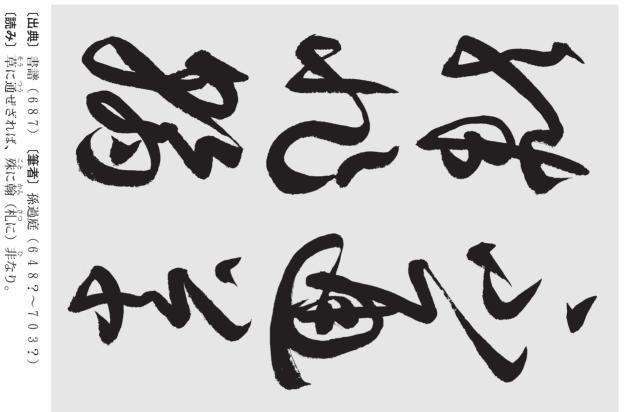
題は一般部段位用紙を横に使用。

ぉ尾 ごう郷 光書

ラジオ体操は昭和3年,国民保健 のためNHKが放送を開始した。 德島県阿波市

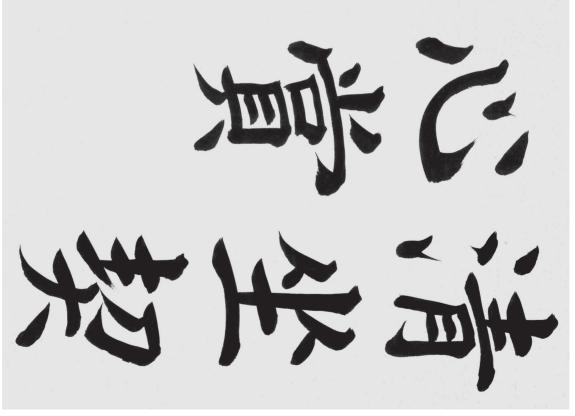
※手本はつけペン使用。 ★三行目は、**指定の地名**と氏名を書いて下さい。





奥村暢之臨

準初段から師範まで



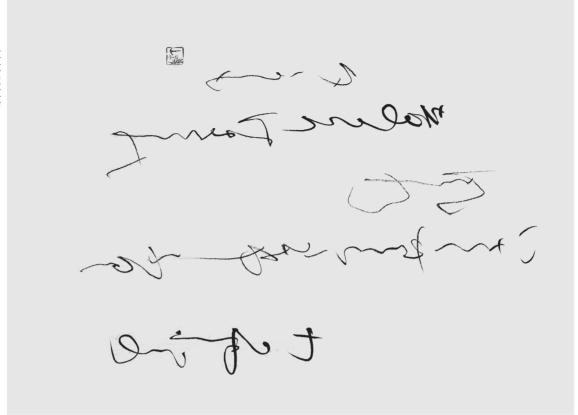
須田一葉書

新入からー級まで(楷書)

[読み] 清坐して心賞を契る [大意] 心を清浄にして端坐していれば自ずから良き心象が生まれてく

大学家持

〔出進〕 [**歌意**] 吾が庭のいささかな竹むらを吹き渡る風の音の幽かな今宵であ ることよ。



■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。

準初段から師範まで

川船やひばり鳴たつ右ひだりかばかれる。

【句意】春の一日、川船で行くと、両岸から雲雀がしきりに鳴き立つ、の意。 【出典】高桑闌更

遗井機山先生 曹

新入から1級まで

一般部毛筆細字課題

般部毛筆条幅課題

切(一三六m×三五m) 荻ぉ 田た

蒼さ

仙ぱん

書

締切り

三月二十四日(必着)

半

〔条幅解説〕線質の強さと美しさを意識して!= でなくタッタ…と歯切れよく運筆してみて下さ 腕を大きく振りながら、リズムよく、ダラダラ お書き下さい。

半紙 (3 3 4 mm × 2 4 0 mm)

だ田 か玲 華 と随 書

三分咲きになりましたら真っ先に 開花が待ち遠しくてなりません ご連絡しますのでお越し下さい 梅の蕾がいくつも枝から顔を出し

印で墨つぎしました。

(ご自分の氏名)

[条幅・細字作品の出し方]

- 一新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位~5等)は、評価により毎月かわり
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

江草浮香満小橋 こうぞうぶょうしょうきょうにみっ 山雲宿雨籠残日 覆われている。 江に草山に雲がかかり夕日に 初出品の方へ の香りが漂っている。 が茂って小橋にまで草 〔大意〕雨が上がり、 姓名·毛筆漢字成績 支部名・会員番号・ を、作品左下に必ず

— 11 —

ょ

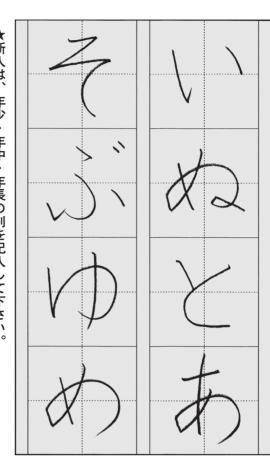
う

年

小

年

◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



(注)えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

7	12	+
2		7
あ		き
1 + "	///	\bigcirc
5	11	子

新入~1級

幼年~小三年まで 三 宅 容 玉 書

〈ようぐ〉自由

(黒色にかぎる)

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)



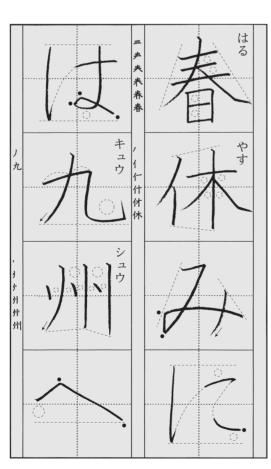
新入~1級



小

Ξ

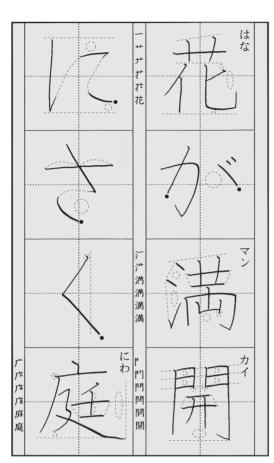
年



	4	义	春
(注) えんぴつ書きでは、	70		休
-	九	実	2
消しゴムを使っては、	州	家	1
いけません。	<u></u>	カベ	11

準初段以上

(用具) 自由 (黒色に限る)



新入~1級

4	7	開	梅	小四年
世上	文			•
+	上	7	花	
	1	<	クジ	
1	7	庭	满	準初段以上

小

五

年

わ いぬ 小四年以上 つ(ける) 土十十十十十 間か 嶋ま 桂は 7 4 4 4 色]][t 書

説(よく見て習いましょう)

	着	色	自司
小丘以上は、			\ \
	4	首	犬
全員5マス用紙で出書して下さい。		輪	
って下さい。	1	2	赤

〈用具〉自由(黒色に限る)

申東谏速 **严而严酉雷**

解 (よく見て習いましょう)

(全員)

中

年

小

六

年

= = 年 (行書)

お小 ざわ 沢 華 書 ▼小三年以下の課題

ま 9 わたしの名前は

3月24日(必着) しめきり

習っていない漢字は ひらがなで書いてもよろしい。

じゅん 淳 むら村 こう 光 井 ▼小四年以上の課題 書

00000

◇作品の出し方

選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。

下さい。 作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて

筆記用具は自由です。(黒色に限る)

四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、 を適当に短くして下さい。 文章

支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。 成績は評価により毎月変わります。 ていない方は新入とみなします。

貼っ

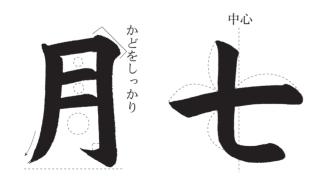
◎お手本はえんぴつ使用

◎お手本はつけペン使用

 $\mathbb{X}_{\mathfrak{z}}^{\scriptscriptstyle au}$ 樹き 小りょう 華か 書











小三~小五年 水ず 野の 香さ 竹々 書

奥なく 村ら 暢ぶ 之き



※行書はリズムよく筆を運ぶことが大切です。

小六~中二·三年

書



